

「環境未来都市」構想 推進フォーラムin近畿



「新成長戦略～「元気な日本」復活のシナリオ～」(平成22年6月18日閣議決定)において、21の国家戦略プロジェクトのうちの一つとして「環境未来都市」構想が位置付けられています。これを受け政府では、「環境未来都市」構想を具体化していくため、「環境未来都市」構想有識者検討会を設置し、コンセプトに関する議論を重ね、今般、その整理を行いました。「環境未来都市」構想とは、限られた数の特定の都市・地域において、世界に類のない成功事例を創出するとともに、成功事例の国内外への普及展開による需要拡大、雇用創出、国際的課題解決力の強化を通じて、環境・超高齢化対応等を追求した人間中心の都市を目指すものです。また、社会経済システムイノベーションを引き起こすことにより、「誰もが暮らしたいまち」、「誰もが活力あるまち」を実現し、都市・地域レベルから持続可能な経済社会構造へと変革を遂げることを目指すものです。

本フォーラムでは、この「環境未来都市」構想の趣旨を紹介するとともに、有識者と経済界の代表をお招きし、「環境未来都市」構想を切り口とした持続可能な今後の都市・地域の在り方についてのディスカッションを行います。

5月10日(火)14:00～16:30
大阪合同庁舎1号館第1別館2階大会議室

◆プログラム◆

- | | |
|-------------|------------------------------------|
| 14:00 | 開会 |
| 14:05-14:35 | 「環境未来都市」構想コンセプト説明 |
| 14:35-14:50 | 国外事例の紹介 |
| 14:50-16:10 | 水口哲氏(株式会社博報堂ディレクター)
パネルディスカッション |
| 16:10-16:30 | パネリスト: 藤田壮氏、榎村久子氏、森本弘氏
質疑応答 |
| 16:30 | 閉会 |

◆パネリスト紹介◆

藤田 壮 氏

(コーディネーター兼)
1997年7月博士(工学)取得(東京大学)。大阪大学大学院工学研究科環境工学専攻助手・助教授、東洋大学工学部環境建設学科教授等を歴任。現職、東洋大学特任教授。「環境未来都市」構想有識者検討会委員。

榎村 久子 氏

1976年博士(農学)取得(京都大学)。奈良新聞記者、奈良県庁職員、奈良文化女子短期大学教員、奈良県立商科大学教授を歴任。現職、京都女子大学現代社会学部教授。地球環境関西フォーラム100人委員、技術士(都市及び地方計画)。

森本 弘 氏

1980年9月博士(理学)取得(大阪大学)同年10月、シャープ株式会社入社。液晶事業部液晶研究所第三開発部部長、SLA(米国研究所)副社長、技術本部エコロジー技術開発センター所長を歴任。現職、執行役員環境安全本部長。